

中田

エヴァンゲリオン「EVANGELION 100.0」を開催



▲企画展の展示品を熱心に見る来館者

人気の秘密や魅力を発見

石ノ森章太郎ふるさと記念館第44回特別企画展「EVANGELION 100.0」が10月6日まで同館で開催されています。アニメ放送されたエヴァンゲリオンは、劇場版などの発表により、さらに人気が高まりました。コラボレーションによる数々の関連商品も生み出し、その人気はとどまることを知りません。企画展では、模型や衣類など1000のカテゴリーから約2000点を展示。多くのアイテムを通してエヴァンゲリオンの魅力を発見できる展示会となっています。これまでと違うエヴァンゲリオンの世界をお楽しみいただけます。

迫

迫っ子サマーキャンプを開催



▲仲間と一緒に作ったカレーは格別のおいしさ

仲間と一緒にカレー作り

「迫っ子サマーキャンプ夏休み子ども合宿」が8月3日、4日の2日間、国立花山少年自然の家で開催され、迫町内の小学校5〜6年生52人が参加しました。合宿は、地域のリーダーを養成することを目的に開催。参加した児童たちは、ジュニアリーダー「青びつき」の皆さんのお世話を受けながら、うちわ作成や野外炊飯、キャンドルセラモニーなどを体験しました。野外炊飯ではカレー作りに挑戦。普段食べているカレーも、仲間と一緒に作り野外で食べると一段とおいしく、児童たちは笑顔で食事を楽しんでいました。

大自然の中で体験学習

「花山サマースクール」が8月1日、2日の2日間、国立花山青少年自然の家で開催されました。サマースクールは、大自然の中で学年を超えた交流を深めることを目的に実施したものです。豊里小中学校の1年生から6年生と、ジュニアリーダー「赤い鳥」など総勢63人が参加しました。沢の増水で沢遊びが中止となりましたが、こけしの絵付けやグリーンアドベンチャー、キャンドルセラモニーを実施。まきをたいてご飯やカレーも作り、児童たちは大自然の中で伸び伸びと学習体験をしながら交流を深めました。

ときめきキッズ花山合宿

豊里



▲こけしに絵付けし、世界に一つだけのオリジナルこけしが完成

元気に「いらっしやいませ」

登米町内の商店が一堂に集う毎年恒例の「かっぱ市」が7月25日、登米町観光物産センター「遠山之里」前庭で行われ、新鮮な地場産野菜や季節の商品が販売されました。会場では、登米小中学校の商売体験事業として、6年生26人が自分たちで商品を仕入れて販売する「キッズマーケット」も開催。児童たちの呼び声に多くの人が足を止め、商品を買って求めています。かっぱ市には、市の観光ゆるキャラ「はつとん」も登場。お楽しみ抽選会やビンゴゲームなどの楽しい催し物なども行われ、大盛況でした。

また来て下さい「かっぱ市」

登米



▲自分たちで仕入れた商品を販売するキッズマーケット

米山

入善町の児童たちが訪問



▲登米市と入善町の児童たちはすぐに打ち解け、水辺の交流を満喫

児童たちが平筒沼で交流

市と姉妹都市提携を結んでいる富山県入善町の小中学生18人が、8月5日から7日までの3日間、本市を訪れ、米山町内の小学生と交流しました。姉妹都市交流は、昭和初期に入善町の人たちが米山町短台地区に入植し開墾したことがきっかけで、平成15年から続いているものです。6日には、平筒沼ふれあい公園で海洋性スポーツを体験しました。中でも人気だった発泡渡りでは、落とし合いを楽しみむ姿やお互い助け合ってゴールまでたどり着くなど、児童たちの距離は一気に縮まり、楽しい一日を過ごしました。

東和

3小学校合同で花山合宿



▲小雨の降る中、沢登りにチャレンジする児童たち

みんなで一緒に沢登り

東和町内の3小学校の5年生47人が、花山青少年自然の家で、7月24日から二泊三日の交流合宿を行いました。交流合宿は、グループ活動や自然体験などを通して新しい仲間の輪を広げ、小学校の楽しい思い出づくりの一つとして30年以上続いているものです。合宿では、野外炊飯やジュニアリーダーを中心としたダンスやゲーム、キャンドルサービスタなどを行いました。小雨の降る中実施した沢登り。児童たちは励まし合いながら沢を登りきりました。到着地点の滝では滝つぼに飛び込む児童もいて、歓声が溢れていました。